



Navigate tomorrow – today

StormGeo 社 / CII 規制にもとづく格付け機能を s-Insight に追加リリース

海運業界向けに意思決定のための支援サービスを提供している大手プロバイダー [StormGeo](#) は、本日、炭素強度指数(CII) の計算ならびに CII の格付けを継続的にモニター可能なツールとして [Carbon Intensity Indicator \(CII\) Dashboard](#) のリリースを発表しました。

今回リリースした CII Dashboard は、ソフトウェアサービスパッケージ「s-Suite」の重要な機能の一つであり、s-Insight のプラットフォームに組み込まれています。

CII Dashboard は、信頼性の高い船舶データと炭素強度指数を正確に評価する機能を求めるお客様のニーズをもとに開発されたものであり、CII 規則に準拠しながら対応策を講じることが可能なサポートツールです。

CII は、AER (年間効率化比率)に基づいて計測される貨物輸送能力と航走距離 (海里) あたりの CO2 排出量であり、船舶が貨物または乗客をどれだけ効率的に輸送するかを示す運航効率の指標です。2023 年 1 月 1 日以降、総トン数 5,000 トン以上の全ての貨物船、Ro-Pax 船、クルーズ船は、国際海事機関(IMO)によって採択された国際技術規則にもとづき CII の格付けを計測し、報告する義務があります。

新たな規則では、CII の格付けを A から E の範囲で評価され、運航効率の非常によい船舶は評価を A として格付けされます。D または E と格付けされた船舶のオペレーターは、船舶エネルギー効率管理計画(SEEMP)の一環として、CII の格付けを C 以上に改善するための計画書を提出する必要があります。

市場に出回っている他の CII 計算ツールと異なり、StormGeo の s-Insight は直観的な操作によって複数の船舶の CII データを画面表示することができます。また、オプションとして炭素強度指数の格付け改善のための方法をアドバイスする専門スタッフによるサービスと併用することもできます。

今回リリースするツールは、船種別レーティング閾値を使い、指定した航海期間における CII の達成値と目標値、および両者間の偏差を算出します。また、CII レーティングをベースに CII 値の劣化の年を予測することで、ユーザーは対象船舶についての現在の格付けは言うに及ばず、将来 CII 規制が厳しくなった場合の格付けも把握できるようにしています。更に、3 日間の平均的な傾向も把握することができます。

データの精度が極めて重要であるため、s-Insight のプラットフォームには、定義された条件下での航海距離の除外や、冷凍・貨物の冷暖房システムなどの補正を適切に計算し、差し引くことができるような精度の高い報告データを保有しています。これにより、ツールは将来にわたって利用でき、IMO による計算方法や定義の変更あるいは除外などに柔軟に対応できます。

CII Dashboard は、s-Insight フルスペック版をご利用のお客様は勿論のこと、IMO DCS モジュールご利用の方にもご利用いただけます。

StormGeo Vice President Fleet Performance Management, Thilo Duckert は、『私たちはプロダクトのみならず、CII 規制に対するソリューションも提供しています。今回リリースしたツールは、「エネルギー効率の改善、ならびに炭素強度の報告と削減を目的とする IMO の規則を確実に準拠するために必要な機能である」とのお客様からのニーズに基づいて開発されました。今後、シミュレーション機能を CII Dashboard に組み込む予定です。オペレーターはこのシミュレーション機能を使い、運航の最適化策がその年の船舶の CII の格付けにどのように影響するかについて洞察できるようになるでしょう』と述べ、「最終的には航海効率指標を s-Insight のツールとして統合し、ベンチマーク（基準値）との比較によって航海の効率性を評価できるようにします。これにより個別、あるいはフリートでの CII の格付けを評価するためのより効果的な方法としてさらに一歩前進するでしょう。」と結論付けしています。

StormGeo Shipping の COO, Kim Sørensen は、『我々のアプローチは、CII の格付けを評価するだけにとどまらず、他に類をみないソリューションと言えます。実績と予測される CII の格付けの見通しを組み合わせることにより、フリートの炭素強度を改善するための効果的なサービスを提供します。また、StormGeo は、国際海運業界の脱炭素化の取り組みを支援し、デジタルソリューションを加速させることが最優先事項としており、私達のスマートソフトウェアが、デジタル化による脱炭素化の実現に重要な役割を果たすことを誇りに思っています。』とコメントしています。

StormGeo は、海運、石油・ガス、再生可能エネルギー、ならびに航空業界向けに気象情報や意思決定のための支援サービスを提供するグローバル企業です。脱炭素化に向けたソリューションのご提案に加え、計画航路の立案や航路の最適化、あるいはフリートの管理を目的としたソフトウェアや支援サービスを提供しており、12,000 隻を超える船舶によって様々なサービスをご利用いただいております。

StormGeo は、24 時間年中無休のグローバルオペレーションセンター8 拠点に加え、16ヶ国に24 か所のオフィスを展開しています。また、The UN Global Compact for Sustainable Ocean Business 「持続可能な海洋ビジネスのための国連グローバル・コンパクト」の参加企業として気象状況の監視や分析、天然資源の保護に注力し、お客様が環境に配慮しながらビジネスの意思決定を行うためのサポートをしています。StormGeo はアルファ・ラバルグループのメンバーです。詳細は www.stormgeo.com をご覧ください。